

公民館活動実態調査集計結果

- 1 調査対象公民館 枕崎市内の 73 自治公民館
- 2 調査実施時期 令和 7 年 2 月 6 日発送 3 月 3 日締切
令和 7 年 3 月 6 日再依頼 4 月 28 日最終締切
- 3 回答数 73 公民館中 70 公民館（回答率 95.8%）（内、電子申請を利用した回答 33 公民館）
- 4 調査の目的

公民館へのアンケート調査について、前回は令和元年度に全公民館を対象として、「公民館活動（行事や会議等の実施）の状況」や、「再編（合併）に関する意向」を主な調査内容として実施した。今回の実態調査については、

- ・以前の調査からの 5 年間の経過状況を把握するとともに、公民館としても現状を再確認してもらうこと
- ・自治公民館の再編について、各公民館の考えを把握すること
- ・自治公民館にかかる、現在の市のサポート内容について、また現在必要としているサポートについて意見を伺うことで、今後の市としての取組の参考にすること

を目的とし、令和元年度の実態調査をベースに、必要な設問を追加して実施した。

5 調査まとめ

1 公民館の運営状況等について

問 1 から問 3 までは、公民館の運営状況等について、基本的なことを尋ねた。

（問 1）

役員会や総会について、回答状況に前回から若干の割合の違いがみられるものの、「定期的開催している。」の割合が 78.6%と、ほぼコロナ禍以前の水準まで戻っている。また「どちらも開催していない。」は前回から 1 公民館増加している。

（問 2・問 3）

回答状況に前回と若干の割合の違いがみられるものの、大きな変化は見られない。

役員の選出については、10 公民館が「うまくいっていない。」と回答し、「どちらともいえない。」を含めると 28 公民館（40.0%）が役員の選出に苦慮している。その理由としては大きく分けて、「人手・人材不足」、「高齢化・世代交代の困難」、「住民の関心や意識の低下」、「地域構造の変化（戸数減少やつながりの希薄化）」が挙げられる。

役員や公民館長の選出がうまくいかない主な要因は、「人手不足・なり手不足」が最も大きいとみられる。特に館長は責任や平日活動の負担が大きく、なり手が見つかりにくい状況である。また若い世代や女性の参画も少なく、世代交代が進んでいない状況もみられる。さらに、住民の関心の低下や地域内のつながりの希薄化も、選出の難しさにつながっていると考えられる。

2 自主防災組織の結成等について

問 4 と問 5 については、自主防災組織の結成・活動等について尋ねた。

（問 4）

「組織を結成したが、活動ができていない。」もしくは「組織を結成していない。」が全体の 7 割程度である。アとイの選択肢の内容を前回から変更しているが、前回の「組織を結成したが、活動ができていない。」もしくは「組織を結成していない。」は全体の 5 割弱である。

「組織を結成したが、活動ができていない。」を選択した公民館において、その理由は大きく分けて、「人手不足・高齢化」、「防災意識や関心の低さ」、「知識やノウハウの不足」、「コロナ禍による活動の停滞」、「体制・仕組みの課題（役員体制・引継ぎなど）」が挙げられる。

自主防災組織が結成されていても活動ができていない主な要因は、「高齢化と人手不足」が最も多く挙げられた。高齢化に伴い、活動への参加が難しい地域が多数みられている。また、新型コロナの影響もみられ、活動が中断されたまま再開できていないケースや、再開したいと思っているが、活動の進め方が分からなかったり、指導者がいなかったりといったノウハウ不足もみられている。なお、一部では、訓練は行っていないものの、組織図や連絡網の整備、市の訓練への参加など、最低限の備えを維持している公民館もみられている。

（問 5）

問 5 では、自主防災組織を結成している公民館に、訓練の実施状況を尋ねた。

「定期的訓練を実施している」と回答した公民館が 7 公民館（前回 4 公民館）あり、うち 1 年に 1 回定期的に訓練している公民館が 6 公民館、2 年に 1 回実施している公民館が 1 公民館であった。そのほか、市の防災訓練などに参加するなど、「必要に応じて訓練を実施している」のが 2 公民館、「訓練は実施していないが、防災に関わる事項の確認や話し合いを定期的に行っている」のが 16 公民館という結果となった。

3 活動・行事等の取り組みについて

問 6 から問 10 においては、公民館内部の組織や行事等の実施状況を把握し、円滑に活動が行われているかを確認した。

(問 6)

公民館内の組織や部について尋ねたが、回答のあった 70 公民館のうち 56 公民館 (80.0%) がなんらかの組織があり、活動している状態である。

(問 7)

問 7 では公民館活動の参加状態について尋ねたが、「館員の多くが参加し、活動が活発に行われている。」、「館員の参加者はそれほど多くないが、限られた人員で活動を充実させている。」、「館員の参加者は少ないが、近隣の公民館と合同で行うなど、参加人数を確保して、活動を充実させている。」が合わせて 72.8% となり、「毎回、参加者が少なく活動の運営に苦労している。」が 17.1% となった。「その他」では、美化活動等には積極的に参加があるが、そのほかの行事では限られた人員で活動している状態もみられた。

(問 8～10)

問 8 では、隣接する公民館と合同で行っている行事等について尋ねた。

少年野球 (23 公民館、32.9%) が最も多く、次いで育成会活動 (11 公民館、15.7%) が挙げられたが、どちらも前回からは割合及び数が減少している。

問 9 は集落内の美化活動について、問 10 では防犯対策について尋ねた。それぞれの公民館が自分たちの集落のための活動に取り組んでいる様子を知ることができた。

〇4 課題・問題等について

(問 11)

問 11 では、公民館を運営するにあたって、抱えている問題とその問題の解決に向けて、現在取り組んでいることを回答してもらった。挙げられた問題点は、「高齢化・人材不足」、「若年層・子どもの減少」、「役員のなり手不足・後継者不在」、「行事・活動の停滞や縮小」、「財政面での課題」、「地域内のつながりの希薄化」、「制度そのものへの疑問」に大きく分けられる。

「高齢化・人材不足」の点では、多くの地域で高齢化が進み、地域の半数以上が高齢者という例もあった。高齢により公民館活動からの引退希望が増え、体力的・時間的制約から活動参加が困難となっている状況がみられる。今後さらに人材不足が深刻化する懸念が示されている。

「若年層・子どもの減少」の点では、若い世代や子どもが少なく、30 代以下がいない地域もみられる。このことにより、育成会の活動や子ども神輿をはじめとする伝統行事の継続が困難となっている地域もみられる。

「役員のなり手不足・後継者不在」の点では、問 2・3 でも触れたが、館長や役員のなり手がいないという声が多数ある状況がみられる。

「行事・活動の停滞や縮小」の点では、新型コロナの影響、高齢化や若年層・子どもの減少とも相まって、公民館活動に支障が生じている状況がみられる。

「財政面での課題」の点では、高齢化や館員減少に伴う会費収入の減少により、運営費用の確保が難しくなっている状況がみられる。

「地域内のつながりの希薄化」の点では、「顔と名前がわからない」など住民同士の関係性が希薄になってきており、連携や協力体制の構築が難しくなっているとみられる。

こういったことから、公民館活動の運営において、「人手が足りない」という表面的な問題だけではなく、社会構造の変化（高齢化や地域の希薄化など）が背景にあることがわかる。

これらの課題・問題点については、「若い世代の行事への参加促進や役員選出」、「高齢者・子どもが交流できる行事の企画や、隣接地域との合同開催」、「役員の輪番制の明確化や、規約改正による負担分散や運営の継続性の確保」、「伝統行事の継承や参加者確保に向けた声かけ」、「未加入世帯への勧誘」などの工夫を行っている公民館が見受けられる。

(問 12)

問 12 では、公民館を運営するにあたって抱えている困りごとや課題について、市の支援を要望するものについて回答してもらった。

(問 13)

問 13 から問 15 については、再編（合併）に対してどのような考えを持っているのかを尋ねた。

「再編（合併）が必要と考えている」と回答した公民館は 11 公民館 (15.7%)、「現時点で再編（合併）の必要はないが、将来的には必要だと考える」は、36 公民館 (51.4%) あり、合わせて 47 公民館 (67.1%) が再編（合併）は必要であると考えていることが分かった。「再編（合併）が必要と考えている」の項目においては、前回回答した 4 公民館から大きく増加していることがわかる。

(問 14)

問 14 では、前問で「再編（合併）の必要はない」と回答した公民館に対し、その理由を尋ねた。一番多かったのは、「現状で十分活動できているから」で、次いで「再編そのものに関心がない」であった。なお、「現状で十分活動できているから。」と回答している公民館のうち、100 世帯未満の小規模な公民館は 6 公民館であった。

(問 15)

問 15 では、「隣接する公民館から再編（合併）の協議の申し出があった場合は、協議に応じることはできるか」を尋ねた。協議に応じることはできないと回答した公民館は 4 公民館と少なく、「応じることができる」が 30 公民館、「わからない」が 33 公民館と同数程度であった。

○ 5 自治公民館を支援する制度について

○ その他

問 16 では、生涯学習課が所管する各種支援制度について、改善点や要望があるかを回答してもらった。挙げられた改善点や要望については、今後の施策に生かしていきたい。

また、最後にその他の要望として、思い当たることを回答してもらった。

統 括

今回の調査から、現在多くの自治公民館が「高齢化・人材不足」や「役員のなり手不足・後継者不在」をはじめとする課題を抱えており、これにより自治公民館の活動が低迷し、運営にも支障をきたしている状況が多く見受けられた。

また一部では、市職員が公民館に未加入であることや、加入していても地域活動への意識が低いとする指摘もあった。

なり手不足が深刻化する中で、行政からの依頼や要請によって、自治公民館の担う役割や負担が年々増加している現状を踏まえると、今後持続的な公民館運営や行政との協働体制を築いていくためには、公民館側の努力だけでなく、行政もその在り方を見直す必要があると考えられる。

加えて、市に対する具体的な要望や意見も寄せられており、これらを丁寧を受け止め、市として今後どのような支援や対応が求められるのかを整理し、検討していくことが必要と考えられる。

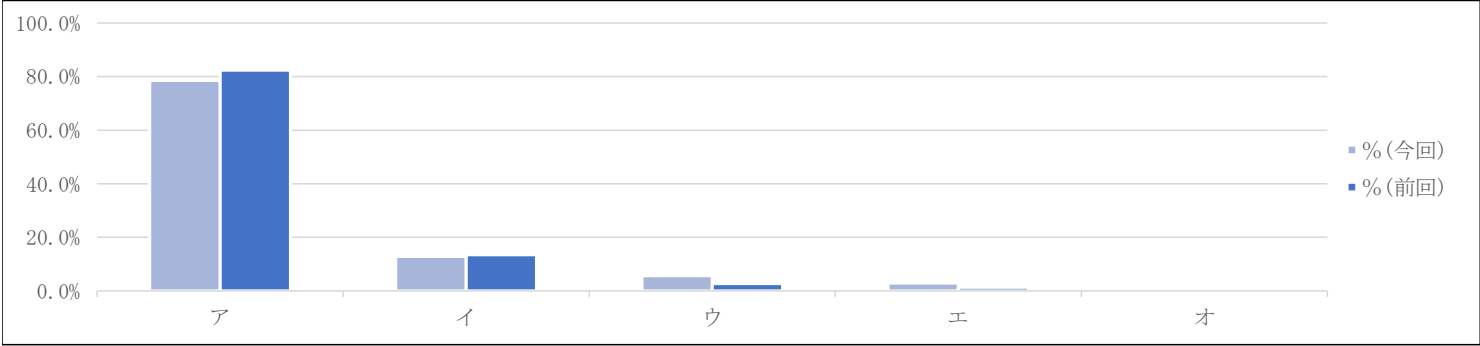
なお、詳細については別紙のとおりである。

1 公民館の運営状況等について

問 1 貴公民館の運営状況等についてお尋ねします。
貴公民館では、役員会や総会などは定期的には開催されていますか。

選択肢	回答内容	回答数	% (今回)	% (前回)	今回ー前回
ア	役員会・総会とも定期的には開催している。	55	78.6%	82.4%	-3.8%
イ	役員会は開催していないが、総会を開催している。	9	12.9%	13.5%	-0.6%
ウ	書面の報告や書面総会などで対応している。	4	5.7%	2.7%	3.0%
エ	どちらも開催していない。	2	2.9%	1.4%	1.5%
オ	その他	0	0.0%	0.0%	0.0%

※割合は、回答のあった70公民館に対するもの。以下同じ。

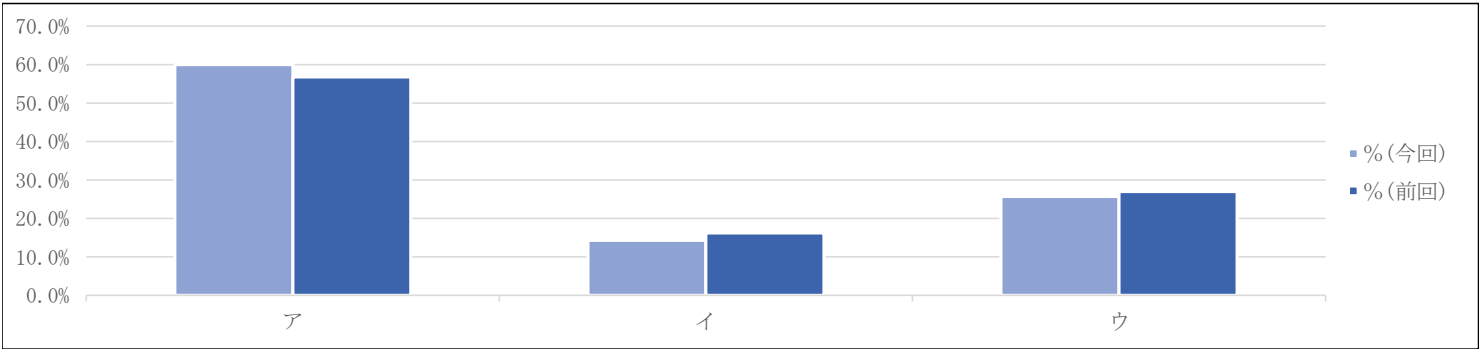


オ. その他 の記述
特になし

1 公民館の運営状況等について

問2 公民館の役員の選出については、うまくいっていますか。

選択肢	回答内容	回答数	% (今回)	% (前回)	今回－前回
ア	うまくいっている。	42	60.0%	56.8%	3.2%
イ	うまくいっていない。	10	14.3%	16.2%	-1.9%
ウ	どちらともいえない。	18	25.7%	27.0%	-1.3%



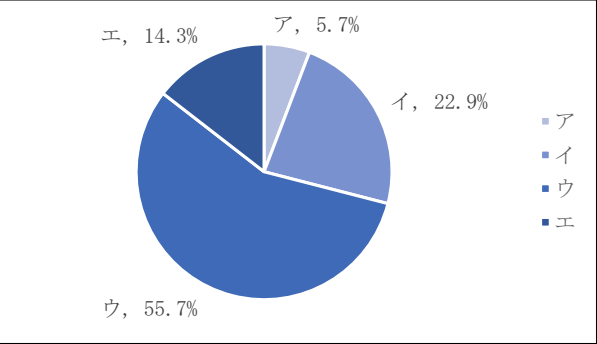
問3 問2において、「イ. うまくいっていない。」「ウ. どちらともいえない。」を選んだ公民館にお尋ねします。その理由は何だと思いますか。

回答
人手不足。
役員のなり手がいない。高齢化と女性方の協力が少ない。
公民館長のなり手がいない。
館長の候補者がいない。
15年同じ人間が館長をしている。総会で次の人にバトンタッチしようと思うがなり手がいない。
人員不足、館員の高齢化。
住民の高齢化、住民の減少傾向
役員を引き受けてもらえない。
人材不足。（協力いただける人が少ない。）
次の役員がなかなか決まらない。する人がいない。
皆さん役員をやりたくない。
役員のなり手がいない。
館長のなり手がいない。（平日に会合等があり、会社を休めない、65歳以下の方。）
65歳以上の方の健康上で問題がある方が多い。
公民館長を引き受けてくれる人がいないこと。役員はわりとスムーズに決まるのに。
高齢化と人員不足、公民館規約の縛りなど。
公民館長選出は、年度ごとに班の持ち回りとなっているが、選出しない班があるため、市役所職員OBが引き受けざるをえない年度がある。
適格者不足、年齢、意識、関わり等、規約はあるが選出規定がない。
館長・副館長の選出は、町内を四等分し、年毎に（例えば今年は一組から館長、二組から副館長を選ぶ）選ぶが、辞退等が多くなかなか決まらない。
1. 役員のなり手不足、2. 自分たちの公民館活動に無頓着・他人事、3. 市政運営に対する意識のなさ、4. 個人情報の厳格化による館内の人の動きの情報不足。
人材不足。枕崎市職員OBの公民館活動意欲の無さ。
公民館活動に関心がない。
昔のように、縦・横のつながりが無い。皆無関心、あまりにも役所が公民館に頼りすぎ。
人が少ないため。
戸数が少ないため。
公民館規約との兼ね合い。
春日公民館の特殊性のため。

2 自主防災組織の結成等について

問 4 自主防災組織の活動状況等についてお尋ねします。
自主防災組織の活動としては、災害への備えに対する活動（避難訓練など）や、災害時の活動（情報の伝達や避難誘導、安否確認活動など）があります。貴公民館が結成した自主防災組織の活動状況について、お答えください。

選択肢	回答内容	回答数	% (今回)
ア	普段から訓練等により災害時に備え、災害時にも活動を行っている。	4	5.7%
イ	普段から訓練等により災害時に備えているが、災害時の活動実績はまだない。	16	22.9%
ウ	組織を結成したが、活動ができていない。	39	55.7%
エ	組織を結成していない。	10	14.3%



(参考) 前回の選択肢での回答状況

回答内容	% (前回)
自発的に活動できている。	9.5%
活動できる状態にある。	43.2%
組織を結成したが、活動ができていない。	28.4%
組織を結成していない。	18.9%

ウ. 組織を結成したが、活動ができていない。⇒ 活動ができていない理由は何ですか。

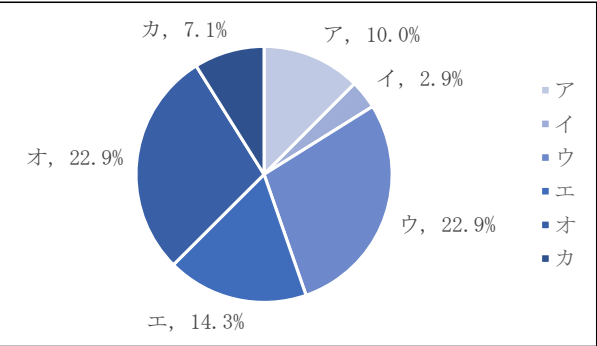
回答
高齢化のため、人員が集まらない。
高齢者が多く、なかなか参加が少ない。
活動しようにも人が集まらない。
住民の高齢化。
高齢化により、活動が困難。
住民を集めての訓練等が難しい。
役員が少なく防災活動まで手が回らない。
人員が少ない。訓練活動が数年に1度。
65歳以上が集落の70%で、入退院されている方が多く、防災の意識・関心も低い。活動の参加もできない。
防災活動する若い方が少ない。
防災の意識・関心が低い。
防災活動への意識のなさに関心のなさ、災害は他人事のように見受ける。
地形的に災害が起きにくく、災害への意識、関心が低い。
活動のやり方がわからない。
活動のやり方がわからない。皆さん高齢になっている。
専門的に知識を持った人に指導してもらいたい。
防災組織員の高齢化により積極的活動が難しい。また、コロナ後のイベント数減により近隣との接触機会が減少している。
新型コロナウイルス感染症の発生により、近年活動実績がなく、起こりうる災害とその災害に対応した活動内容・方法についてのノウハウがない。
コロナの流行で活動ができず、その後役員が変わったことなどから活動していない。
消防団を中心にして、総会時に各自担当者（責任分担）を確認している。
市の防災訓練には参加している。
防災の意識はある。訓練等は実施していないが、災害時は活動している。
仮に災害が発生した場合の出動体制はできている。
防災に対する関心が薄い。総会等で避難場所等は説明している。高齢化が進み若い人が少ない。役員中心で行っている。
訓練等は実施していないが、組織図を作成し、いつでも活動できる状態にある。
避難場所などは、事あるごとに、確認は回覧にて周知している。
市主催の避難訓練への参加を訓練代わりにしている。
昨年末に自主防災会臨時総会を開催して、公民館役員が自主防災会役員を兼務する規約改定を行なった。今年4月の自主防災会総会で活動出来る防災計画に改定する予定である。
連絡網はできているが、毎年班長が入れ替わるため、活動ができていない。
人が少ないため。
エ. 組織を結成していない。⇒ 結成していない理由があればご記入ください。

回答
住民の高齢化。
戸数が少ないため。
結成はしていないが、市の防災訓練の時は、担当を決めて参加するようにはしている。
これまでそのような動きがなく、積極的に取り組む機を逸している。
宮前町の場合は、公園地・水源地・健康センターなどがあるため、個人個人がそのつもりでいるため。
役員と消防団で対応したいと思う。
特に地域に必要との声がないため。

2 自主防災組織の結成等について

問 5 自主防災組織を結成している公民館にお尋ねします。
災害発生に備えた消火、避難、救命、通報などの訓練が自主的に行われていますか。

選択肢	回答内容	回答数	% (今回)
ア	定期的に訓練を実施している。	7	10.0%
イ	必要に応じて訓練を実施している。	2	2.9%
ウ	訓練は実施していないが、防災に関わる事項（防災組織図など）の確認や話し合いを定期的に行っている。	16	22.9%
エ	以前実施したが、最近は実施していない。	10	14.3%
オ	組織を結成して以来、訓練を実施したことがない。	16	22.9%
カ	その他	5	7.1%



(参考) 前回の選択肢での回答状況

回答内容	% (前回)
定期的に訓練を実施している。	5.0%
必要最低限の訓練は実施している。	6.6%
訓練は実施していないが、防災組織図などによって館員と確認を行っている。	41.7%
体制が十分ではないため、最近は実施していない。	5.0%
組織を結成して以降、訓練は実施していない。	41.7%

ア．定期的に訓練を実施している。

回答
1年に1回程度の実施
2年に1回程度の実施

イ．必要に応じて訓練を実施している。⇒ 最近の実施状況をご記入ください。

回答
令和6年度に救命訓練と心肺蘇生法を行った。
令和6年度は代表で5名が枕崎市防災訓練に参加した。また、11月に開催された地域防災講習に1名参加した。

ウ．訓練は実施していないが、防災に関わる事項（防災組織図など）の確認や話し合いを定期的に行っている。

回答
1年に1回程度の実施
1年に2回程度の実施
2年に1回程度の実施
役員会4回、例会3回

エ．以前実施したが、最近は実施していない。⇒ 最終実施年と、実施していない理由は何ですか。

回答
平成22年頃/人口減少及び高齢化により人員が集まらない。
平成30年頃/人材不足。
結成した後頃から/実施するための知見やノウハウがない。
平成20年頃/若いリーダーがいない。
不明/高齢化のため。
令和3年頃/コロナ以降実施していない。
平成15年頃
平成27年頃/コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点もあり、必要性や活動実施について、集落民からの要望もなかった。コロナ禍以降できていなかった対面での総会の中で、昨年自主防災活動に関する意見が出されたことから、市の関係部局へ相談し、来年度に防災講話を実施することで調整している。
平成30年頃/若いリーダーがいない。
昭和50年頃/以前公民館の運動会の中で消火訓練ほか消防署の指導を受けていたが、運動会を実施しなくなって訓練もやめてしまった。

オ. 組織を結成して以来、訓練を実施したことがない。⇒ 実施したことがない理由は何ですか。

回答
実施するための知見やノウハウがない。
訓練実施のノウハウがない。
若いリーダーがいない。
若いリーダーがいない、高齢化、人口減少。
実施するタイミングがない。
防災組織の結成及び防災計画についての認識がなかった。
役員が少なく、防災活動まで手が回らない。
参加者が少ない。
市主催の避難訓練への参加を訓練代わりにしている。
周知していないのが大きい？私自身も館長になるまでであることも知らなかった。台風の後防災組織の回覧をしましたが、どこまで周知できたか微妙です。
災害への意識、関心が低いため。
意識が低い。

カ. その他

回答
津波を想定し、避難訓練を実施している。（鳥越墓地～駐車場まで）
市の防災訓練には参加している。訓練自体は実施したいのだが、参加者が少ない。どんな方法で実施すればよいかわからない。
訓練を実施するための知見やノウハウがない。関心が低い。
人が少ないため訓練を実施していない。
訓練は実施していない。市の防災訓練には参加している。
災害が発生した場合の動員体制はできている。
市の防災訓練に防災組織員の積極的な参加を促している。
記憶がない。
若い方がいないため。（活動ができていない）

3 活動・行事等の取り組みについて

問6 育成会（子ども会）をはじめ、壮年団等（婦人部、老人会など）の活動はできていますか。
※複数回答可

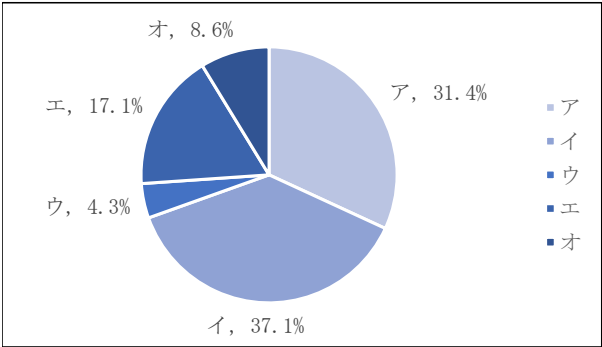
組織名	組織がある。	定期的に総会や役員会等を開催している。	役員会等は開催していないが、総会は開催している。	計画を立て、行事（活動）を行っている。	他の集落の組織と合同の行事（活動）を行っている。
育成会	52	28	7	39	17
壮年団	28	20	4	21	6
老人会	28	17	3	20	3
婦人会	19	12	1	9	1

その他に活動している組織・専門部等がありましたら組織名をご記入ください。

組織名
同友会
成年部
尻無川清掃活動
宝寿庵地区5集落村作り会
四五六会
テゲテゲ体操クラブ
自主防災団、民生委員、大堀消防団
環境保全会

問7 公民館活動についてお尋ねします。
館員の参加状況についてお答えください。

選択肢	回答内容	回答数	% (今回)
ア	館員の多くが参加し、活動が活発に行われている。	22	31.4%
イ	館員の参加者はそれほど多くないが、限られた人員で活動を充実させている。	26	37.1%
ウ	館員の参加者は少ないが、近隣の公民館と合同で行うなど、参加人数を確保して、活動を充実させている。	3	4.3%
エ	毎回、参加者が少なく活動の運営に苦労している。	12	17.1%
オ	その他	6	8.6%



(参考) 前回の選択肢での回答状況

回答内容	% (前回)
多くの方が参加し、活動が盛り上がっている。	56.8%
毎回、参加者が少なく活動の運営に苦慮している。	13.5%
どちらともいえない。	29.7%

オ. その他

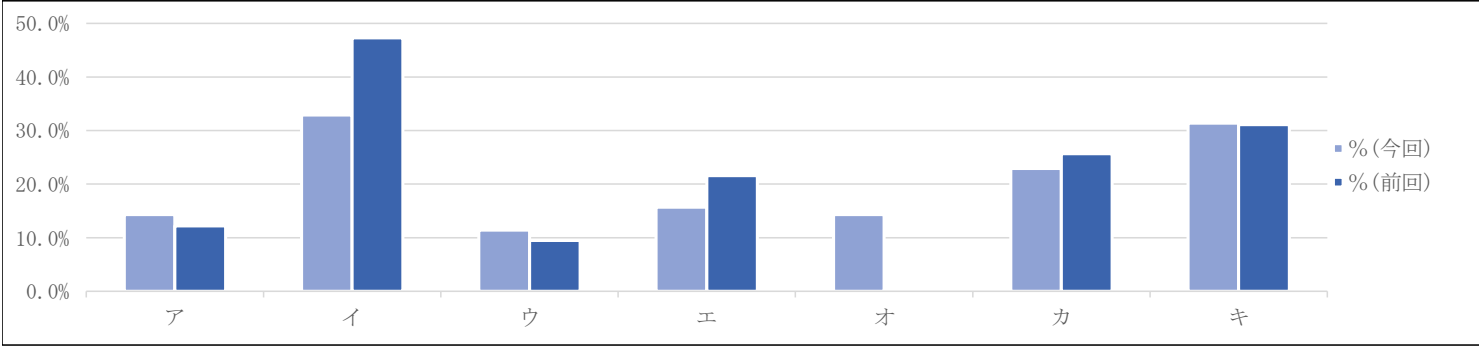
回答
市民運動会等参加者が少ないので3町合同等で参加している。美化活動等は積極的に行っている。
美化作業への参加は積極的で大いに満足であるが、その他の行事参加が多少少ないのが課題である。
決まった方しか活動に参加しない。（高齢や体の不調が理由。）
活動そのものが少ない。
美化活動等には館員の多くが参加。地域の行事（球技大会等）への参加は限られた人員で活動。
必要に応じて参加。

3 活動・行事等の取り組みについて

問 8 現在の公民館活動において、隣接する公民館と合同で行っているものがありますか。
※複数回答可

選択肢	回答内容	回答数	% (今回)	% (前回)	今回ー前回
ア	十五夜行事	10	14.3%	12.2%	2.1%
イ	少年野球	23	32.9%	47.3%	-14.4%
ウ	郷土芸能（太鼓踊りなど）	8	11.4%	9.5%	1.9%
エ	育成会活動	11	15.7%	21.6%	-5.9%
オ	さばらん海港まつりみこし	10	14.3%		14.3%
カ	その他	16	22.9%	25.7%	-2.8%
キ	合同で行っているものはない。	22	31.4%	31.1%	0.3%

※前回オは選択肢になし



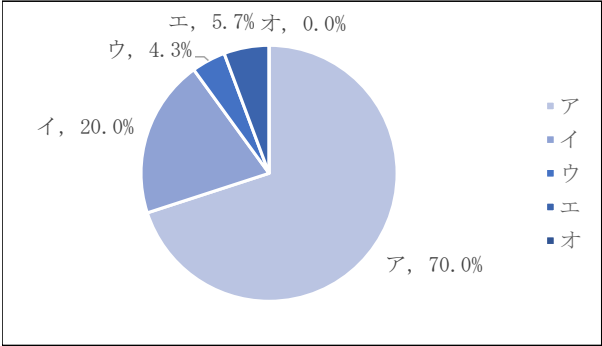
カ. その他

回答
山下・水流太鼓踊り保存会（水流公民館と合同）
竹中区でグラウンドゴルフ大会（年に1回）
市民運動会
5 集落報恩講（真茅、駒水、下山、松崎、茅野）
防災訓練
金山地区公連グラウンドゴルフ大会
農地保全等を行う北環境整備組合と村づくり委員会
立神正月相撲
5 公民館で門松製作
小江平地区「ハマテゴ」

3 活動・行事等の取り組みについて

問9 集落内の環境活動についてお尋ねします。
地域の環境を守るため、地域の美化活動や公民館（建物や広場など）の維持管理は十分にできていますか。

選択肢	回答内容	回答数	% (今回)
ア	地域や公民館の美化活動を定期的に行っている。	49	70.0%
イ	地域の美化活動は定期的に行っているが、公民館はない。	14	20.0%
ウ	地域の美化活動は定期的に行っているが、公民館の維持管理は不十分である。	3	4.3%
エ	地域の美化活動は不十分だが、公民館の維持管理は十分にできている。	4	5.7%
オ	地域の美化活動、公民館の維持管理も不十分である。	0	0.0%



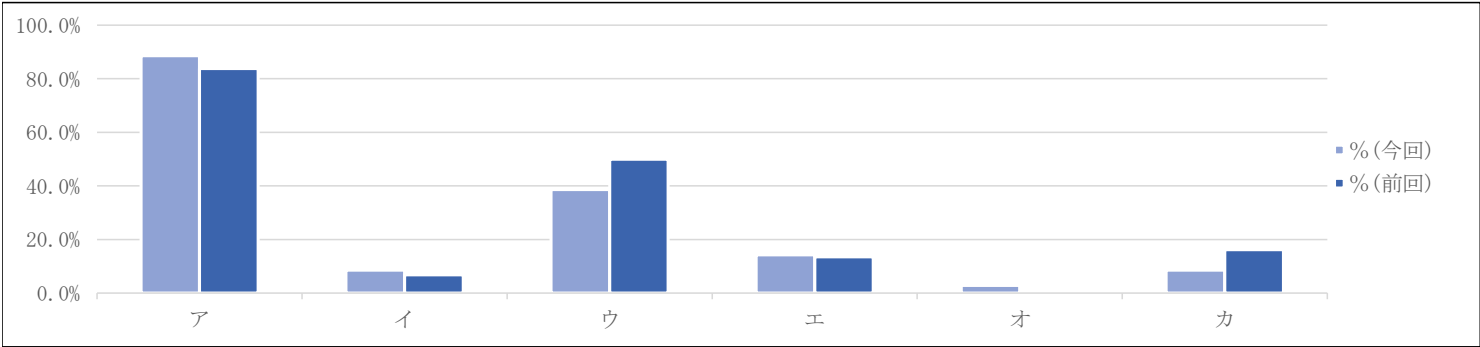
(参考) 前回の選択肢での回答状況

回答内容	% (前回)
地域や公民館の美化活動を定期的に行っている。	71.6%
地域の美化活動は定期的に行っているが、公民館はない。	27.0%
地域の美化活動は定期的に行っているが、公民館の維持管理は不十分である。	0.0%
地域の美化活動、公民館の維持管理も不十分である。	1.4%

オ：地域の美化活動、公民館の維持管理も不十分である。⇒ 不十分な理由は何ですか。
特になし

問10 防犯対策についてお尋ねします。
公民館独自で取り組んでいることがありますか。※複数回答可

選択肢	回答内容	回答数	% (今回)	% (前回)	今回ー前回
ア	集落内に防犯灯を設置している。（市補助、公民館単独設置とも含む。）	62	88.6%	83.8%	4.8%
イ	防犯パトロールを行っている。	6	8.6%	6.8%	1.8%
ウ	防犯に関する情報を回覧板や集落放送などでお知らせしている。	27	38.6%	50.0%	-11.4%
エ	登下校時に見守り活動を行っている。	10	14.3%	13.5%	0.8%
オ	その他	2	2.9%	0.0%	2.9%
カ	特に取り組んでいない。	6	8.6%	16.2%	-7.6%



オ：その他

回答
台風、大雪、大雨などの後の見回り。
PTAや公民館各組織構成員で、見守りを兼ねた朝のあいさつ運動を定期的の実施している。

4 課題・問題等について

問11 ここまで、公民館の運営状況などについてお尋ねしてきましたが、現在、公民館を運営するにあたって、困っていることや抱えている課題、問題等があればご記入ください。また、その問題の解決に向けて、現在取り組んでいることがあればご記入ください。

○運営にあたっての問題点

回答
高齢化して役員のなり手がいない。
高齢化で30代以下がいないので行事が組めない。
若者が少ないため、行事などの運営・活動に際して行動範囲が狭まってしまう。
館員が高齢化し、若い人の参加がない。
館員が高齢化し、戸数が減少していく。
高齢化による人材不足・行事の減少。
公民館長のなり手がいない。役員の高齢化、若者が少ない。
公民館長のなり手がいない。活動に対する参加が少ない。
役員のなり手がいない。
館長や役員をやりたがらない。
館長や役員のなり手がいない。
コロナでいろいろな行事（敬老会や十五夜）が自粛され、復元していくのに苦慮している。
館員が高齢化し、若い人が少ないので行事が盛り上がらない。
集落の半分以上が高齢者で60歳以下の人達が少ないので、行事を計画しても参加する人達が少ない。
少子化により地区内の子どもたちの人数が少なくなり、港まつりの子ども神輿の参加ができなかった。
館員の高齢化により、積極的行事参加が減っている。また、子供の減少により、育成会のイベントが減少し、存続が危ぶまれる。役員の年齢も上がってきており、情報伝達や、夜間の会議に不安がある。
高齢化が進み美化活動等の参加者の減少がみられる。子どもの減少で育成会の存続が厳しくなりそう。（数年後）
住民の高齢化により、地区の運営（地区費の減）に支障をきたしている。
高齢化のため、公民館組織の編入や解散を考える向きもある。
若い世帯と高齢者世帯に分かれていて、公民館員同士の顔と氏名がわからない人が多い。
役員の高齢化、役員の後継者不足、少子高齢化による公民館行事の先細り。
年をとったので公民館を抜きたいという相談が多い。
ふるさと美化活動など人がこない。役員、数人の班長での作業。ごみステーションの維持管理。
高齢化が進み数年後は役員を引き受ける人材がいなくなると思います。また、部落水道の管理が難しくなる。
高齢化に伴い、館員の減少による会費収入が減り、公民館の運営が厳しくなっている。
町の中の公民館は館費だけで運営しているので、高齢者が多く、館費も少ないため、運営が厳しい。
公民館という制度自体が、時代にそぐわない。

○問題の解決に向けて取り組んでいること

回答
高齢化し、若い人（子供たち）が少ない。→校区でグラウンドゴルフ大会を行っている。
高齢化と少子化で行事が行えない→若い人を館活動に参加させる。
役員のなり手不足→規約改正。
高齢化と少子化で行事が行えない→旭町と組んで行事等を行っている。
館員の減少、高齢化による活動の維持が難しくなる可能性→規約改正。細則を現在の状況にあったものに見直し、整理しているところである。また、行事が少なくなっているため、高齢者と子どもたちが触れ合える行事を企画していきたい。
集落水道の維持管理、配管の老朽化→配管については今後検討していく。
館長、役員のなり手がいない（高齢化）→館員とのコミュニケーションの充実
館長や役員のなり手がいない。世代により地域活動に大きく温度差があるように思う。→相談窓口を一本化してよいのでは。少なくとも生涯学習課ではないと思う。
毎年、市長と語る会において、市と協議しながら前向きな対応を行なっている。
役員のなり手不足→対策を検討中である。
役員の輪番制を明確化させ、更に細かく班ごとに輪番制を組む班が出てきている。
無くしたくないイベントを必ず実施すると役員会で宣言し、子どもたちに少しでも伝統行事を経験してもらうようにしている。
戸数が少ないため、公連の行事への参加者確保が難しいこともある。→各種行事への参加者確保について、回覧や積極的な声掛けを行っている。
高齢化・少子化等で役員のなり手がいない。→十五夜行事など、高齢者が喜んで参加してもらえるように、ビンゴゲーム等内容を充実させている。
総会時に、役員選出の選挙の実施。できるだけ若い人員の選出を心掛けている。
ごみの仕分けについて館員には公民館から周知できているが、館員以外には周知できない状態。
館員の高齢化等による館費の減少、地域の活性化→未加入世帯への勧誘、地域行事の実施
公民館運営をリードする館員が少ない。参加者が少ない。→枕崎市の公民館に対する姿勢を抜本的に変えていかないと、この問題は解決しないと思います。
館長はじめ役員のなり手がいない。また、高齢化・少子化で行事開催も厳しさを増している。→館員への役員勧誘、行事参加を促しているがままならない。

4 課題・問題等について

問12 公民館を運営するにあたって抱えている困りごとや課題について、市の支援を要望したいものがあればご記入ください。

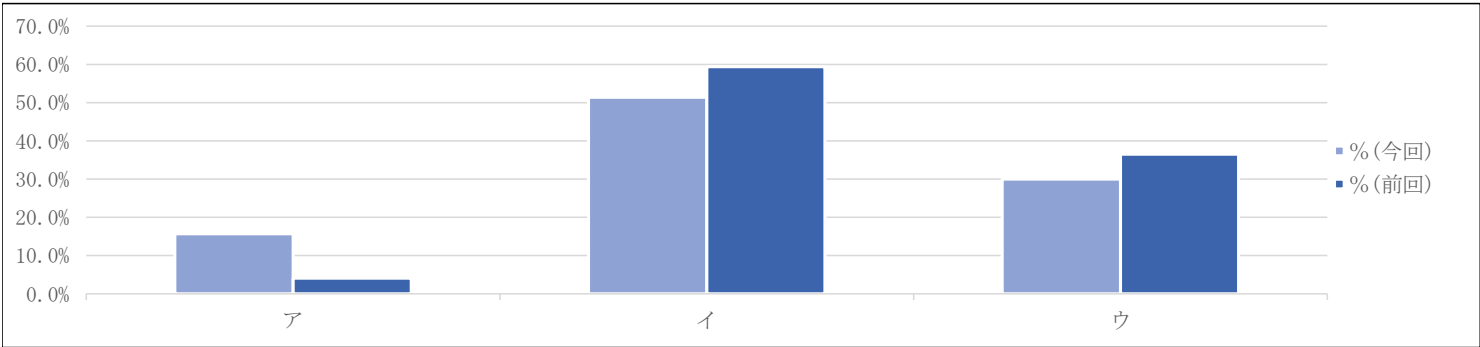
困りごとや課題	要望する市の支援
民生委員の後継者探しに苦労している。 町内に建物の老朽化したものがあり、景観も悪く、交通等に支障もあり、何とかしてほしい	市の職員を公民館の役員に配置してもらい、市との連携（連絡や協働等）をスムーズにしていきたい。
館長のなり手がいない。 ごみの回収の問題。	赤紙が貼られたごみを回収してもらいたい。
館長や役員のなり手がいない。 民生委員や住宅福祉アドバイザーなどのなり手がおらず、探すことが難しい状況です。公民館長など負担が多く、なり手がなかなかいない。	市も公民館長だけに頼るのではなく、系の職員も書物だけで依頼するだけでなく、学校みたいに各公民館の担当職員を決め、一緒に行動してもらいたい。 若者が住む市にしてもらいたい。人口減少ばかりで対策をもっと考えるべきだ。
育成会及び婦人部の役員のなり手がいない問題があり、婦人部については休会を予定している。 ゴミステーションに不燃ごみ袋の未回収が多くみられる。	
ゴミステーションの管理が負担である。	公民館で設置していることは十分理解した上で、一定期間収集されていないごみに対しての対応は可能でしょうか。また、法的に館員以外のごみの持ち込みを制限できないことについても苦慮している。良い案があればご教示いただきたい。
ごみの仕分けについて、枕崎市として下野原に居住している館員以外に、周知できているのか疑問に思う。ごみ収集箱の掃除や仕分けを館員で行っているが、9月以降苦慮している状況にあるため改善したいが、館員以外への周知方法がわからない。	ごみの仕分けについての周知。
集積所における違反ごみへの対応。	- 紙媒体や防災無線放送による周知では違反ごみの減少にはつながっていない。 - 月一回の不燃物ごみの回収日には、分別が悪いため放置される量が以前に比して増えていることから、より効果のある施策を実施してほしい。 - 傘の分別方法の見直しを要望します。
ごみ問題。	収集箱の型式化
ごみ問題。	
ごみの分別が悪い。（特に燃えないごみ）	分別をお願いしている人への支援（回収されないごみを分別するとき）
ごみの処理について	昨年のルール変更以降の放置ごみ増加のため、現状や解決のヒントやアイデアを市報で特集してほしい
ごみ問題、クレームの多さ、市の行事への参加、要望の多さ。	公民館員の減少を防ぐため、数十年値上げもせず運営していますが、役所からの館長への仕事依頼は増加する一方で、何も報酬もなく、ボランティアでやっているのが実情で、誰も館長をやりたいがらないのも理解していただきたい。また、役所職員もどの程度公民館へ入館しているのかも調べてほしい。
ごみが残ってしまう。	市のほうで毎月1回なんとかならないものなのか。
ごみ出しルールを守らない住民がいます。特に燃えないごみの時が多いです。新しいごみの出し方の分別表を配布してあるがよく見ないで出していると思われます。ラベルを貼られ持っていかれていないごみは役員で再度分別して出している状況です。	防災放送で案内放送はされていますが、放送の回数を増やしてほしいです。
危険物ごみ出しが守られない。	
運営規模に難あり。	予算規模等
日之出町の場合、公民館がないため、町民の集まる場所がない。高齢者が多く館費も少ないため、運営が厳しい。	公民館を運営するにあたって市の支援金が欲しい。
運営資金の減少。	
館の老朽化、ごみ収集場の老朽化。	改修工事・修理や更新への市の補助額の見直し（資材費と人件費が高騰している。）
課題の対策について。	他の公民館の成功事例を教えてください。

困りごとや課題	要望する市の支援
高齢化が進み部落水道の管理が難しくなる。	生活用水の管理。
館員の把握について。	過去配布されていた住民世帯票がないため、困ることがある。
地域内では菜園をする家庭が多いので、今年はほんとに何とかならないのかとの声が多かった。 高齢者が多く、電柵を取り付けられない方がほとんどのため、取り付ける作業の手伝いを何とかするとかの何かしらの対策が欲しかった。猟友会の方も高齢化で人数が少ないのは承知しているが、だからどうすることもできないで済ますのは違うと思います。	獣害対策（イノシシ）をしてほしい。
老人会が毎週１回筋トレに励んでいるが、夏は暑く冬は寒い中で頑張っている。クーラーがなく、高齢者には厳しい。	コミュニティ事業でクーラー設置を要望しているが、順番に行って４～５年先のことで、取り急ぎ扇風機を購入して暑さをしのいでいる。
公民館活動参加をどのように意識改革していくか悩んでいる。	
災害箇所の復旧の対応について。	早めの対応をお願いしたい。
高齢化のため、公民間組織の編入や解散を考える向きもある。	公民館の編入や解散に関する指導が欲しい。

4 課題・問題等について

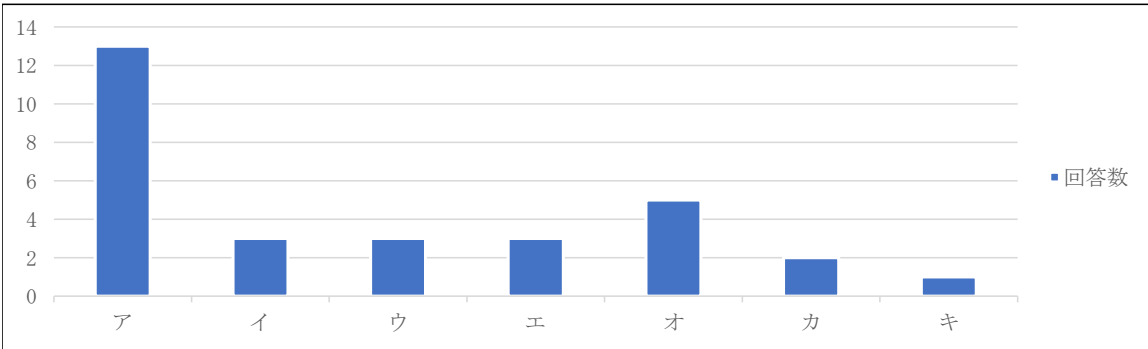
問13 地域の自治機能を維持するため、公民館の再編（合併）の必要性について、どのように考えていますか。

選択肢	回答内容	回答数	% (今回)	% (前回)	今回－前回
ア	再編（合併）が必要と考えている。	11	15.7%	4.1%	11.6%
イ	現時点で再編（合併）の必要はないが、将来的には必要だと考える。	36	51.4%	59.4%	-8.0%
ウ	再編（合併）の必要はない。	21	30.0%	36.5%	-6.5%



問14 問13で「ウ．再編（合併）の必要はない。」と回答した公民館に質問します。その理由は何ですか。
※複数回答可

選択肢	回答内容	回答数
ア	現状で十分活動できているから。	13
イ	近隣には規模の大きな公民館のみで、再編した場合、不都合が生じるおそれがあるので考えていない。	3
ウ	集落水道の会計や他の特別会計に影響があるので考えていない。	3
エ	公民館員の同意が得られない。	3
オ	再編そのものに関心がない。	5
カ	再編など難しい課題に対応できない。	2
キ	その他	1



問15 隣接する公民館から再編（合併）の協議の申し出があった場合は、協議に応じることはできますか。

できる	30公民館
できない	4公民館
わからない	33公民館

5 自治公民館を支援する制度について

問16 生涯学習課が所管する各種支援制度について、改善点や要望などあればお書きください。

回答
これらは大きな事業を主としたもので、必要ではあるが、「コミュニティ助成事業」のように、市としても通常の地域活動支援事業（例えばふれあい事業など）としての助成（ソフト・ハード含めて）はできないものか。また、地域活動活性化推進員制度の制度の充実をもっと図ってほしい。
市の職員を公民館に一人でも役員の中に入れていただき、公民館活動、市との連携等、いろんな面で問題点、今後の改善点等を協議してもらいたい。
市の補助額の増額。
役員報酬の公費支出を。
制度内容をもう少し見やすくわかりやすくしてほしい。
「地域活動活性化推進員制度」のモデル公民館に我が公民館を推奨してください。推進員制度の充実を図ってほしい。
合併のモデルになるような事例はないか。大きなところに小さなところが合併する例、世帯数が同数程度の公民館が合併する例、館費を含めた館則変更等の事例など。再編のイメージがわからずメリット、デメリットが見えづらい。
自治公民館整備事業等補助金制度の拡充。現在の公民館施設を改築してから相当の年月が経過し、修繕が必要な箇所が散見されているが、その費用が多額になるため、修繕工事を施工することができない。
自治公民館整備事業等補助金制度は、台風等での被害を受けた建物への補修に対しても補助金の対象になるのかどうか。 ※ 台風等での被害を受けたかどうかは補助金対象の要件には含まれていません。ただし、民間の保険等が支払われる場合は、算出された市の補助金額から、その支払われた保険金等の額を差し引いた額が補助金額となります。

その他要望

回答
住民の異動がわからない。転入、転出を従前のようにしていただきたい。大変不便さを被っている。
若い人たちが市の行事、公民館活動等に参加してくれるような方策はないか教えてほしい。小中学生の活動等を援助できるようにして、枕崎市に居住することに希望を持てるような対策、それに高齢者も元気な生活ができるような対策を考えてほしい。
今年は日之出町は台風10号で大きな被害を受けました。個人で市に相談すると館長を通じてとの報告ばかりでした。困っているときはもっと真剣に対応してください。台風被害関係の瓦礫等の処分は内鍋センターで引き取ってもらえてありがたかったです。
1 有害鳥獣による被害が多くなっている。高齢化で遊休地が増えているのが要因だが、何とかならないかと思う。 2 民生委員が全く機能していないが、なり手がいない。 3 新しいゴミ出しルールがわかりづらいので、未回収ごみも多くなった。出前講座を取り組みたい。
行政の公民館への積極的な対応。
市の補助額の増額。
公民館内で桜山校区、枕崎校区が混在していて扱いに苦慮することがある。
○人口減少等 ・高齢化による人口減少、特に若い世代の人口減少により公民館の会費が減少しており、行事の実施にも支障をきたしている状況である。 ○プレミアム商品券、温泉入浴券等の施策の実施 ・現在実施しているキャンペーンでは、スマートフォンを利用したポイントの還元であり、恩恵を受けない人が多いこと、また、一部の飲食店のみの実施のため、市内各事業者に恩恵があるような施策を実施してほしい。 ○公民館運営補助金の拡充 ・公民館運営に対して市から補助金をいただき感謝するが、公民館館員の高齢化等により館費が大幅に減少し、行事の開催にも支障をきたしているため、補助金の増額、拡充についてを要望します。
若い世代が定住できるような公的助成施策を推進してほしい。
市長と語る会を公民館長と語る会をとってほしい。